



中期経営計画 2023

「4年後のビジョン」の実現に向けて

 中日本建設

1. 策定の趣旨



- 当社は、企業理念の考えを具現化するため、「10年後のビジョン」を描き、その実現へのロードマップとして、次の3年間に達成すべき業績と取り組む施策を「中期経営計画2020」（フェーズⅡ）として策定し3年が経過しました。
- 2023年以降の当社を取り巻く事業環境は、新型コロナが5類へ移行したことから、社会経済活動の正常化が進んできているものの、物価高や海外経済減速、地政学リスクの顕在化などの下押し要因もあり、先行き不透明な状況が続くのではないかと憂慮されます。
- 建設業界に目を向けますと、依然として、少子高齢化の影響による若年労働者の人手不足の状況が続いております。この状況を打開すべく、「完全週休2日制」の実現に向けた取り組み、2024年4月から適用される「時間外労働の上限規制」ルール等、政府の「働き方改革」関連等の施策等が順次実施されてきております。
- このような中、国土交通省は業務の生産性向上のため、現場でのICTの活用（AI搭載したカメラやドローンで撮影した画像を利用したデジタル技術等）やBIM/CIM（3D設計ソフト）を積極的に推進しております。また、コロナ禍での新生活様式・テレワーク等の新しい働き方も模索され、様々な技術革新が想定を超えるスピードで加速度的に進展しつつあります。さらに社会的課題を解決するSDGsの視点からビジネスを拡大していくことも期待されております。
- このような状況に対処するため、当社は事業環境の変化を成長の機会と捉え、「戦略的成長の実現」（フェーズⅢ）への布石を打っていくために、新たに「中期経営計画2023」を策定し、事業の拡大に向けた施策を推進してまいります。

2. 中期経営計画 2023



当社の企業理念の実現を見据えて描いた「10年後のビジョン」のロードマップのフェーズⅡとして達成すべき目標と取り組む施策を策定する。

●企業理念

- 1 建築土木の設計施工を通して 多くの人が学び 働く「構築物」をより快適に より安全に利用できるように最適な価値 最適なクオリティを提供する
- 2 建設の事業を通して 地域産業や経済の発展 環境に優しい社会の構築に貢献する
- 3 信頼と責任 品質と安全を大切にするとともに それらを支える社員が楽しく働ける職場を目指す



●4年後のビジョン（2027年）

目指す姿： 顧客対応で地域のリーディングカンパニー



●ロードマップ（3か年中期経営計画）

（フェーズⅢ） 2023.10～2026.9「戦略的成長の実現」（2025.1創業95周年）

※4年後のビジョンと現状とのギャップが最も大きい項目や課題を設定し、経営方針や計画を立てる

3. 4年後のビジョン



目指す姿： 顧客対応で地域のリーディングカンパニー

- 基本方針：
- 1 既存主要顧客への深耕、建設サービスの深化を図る
 - 2 名古屋地区の営業強化・拡大を図る
 - 3 顧客志向の提案ができる真のパートナーとしての「人財」を育成する
 - 4 社員が「やる気」を出して、目標を達成しやすい評価基準・報酬制度を構築する

財務目標： 完成工事高 30億円

組織目標： 工事部：25名規模体制

(2020. 9. 30現在 工事部：17名)

経営審査事項目標： 建築の総合評点 1, 100点以上

(審査基準日2022. 9. 30：992点)

土木の格付けランク：四日市市で「A」ランク

4. 中期経営計画2023 (フェーズⅢ) 基本戦略



「戦略的成長への強化」のため、下記戦略にて取り組む

- 1 受注戦略：「集中化・効率化」→①既存顧客からのリピート受注
②既存顧客からの新規顧客紹介 ③公共工事の強化
- 2 価格戦略：「粗利益率向上化」（粗利益率：20%以上）
- 3 顧客戦略：「提案力・特命化」→顧客分析に基づく顧客志向の提案力の向上、
顧客満足度の向上で他社との差別化・特命受注化
- 4 営業戦略：「協働化」→営業部と工事部との連携強化
「システム化」→業務のIT化による生産性向上、属人化からの脱却・
効率的な全員参加型営業の実践
- 5 人事戦略：「人財化」→顧客対応力の向上を目指した自己啓発・資格支援・OJT等
「代謝化」→施工管理体制25名の構築するための新卒・若手採用
「やる気化」→より納得できる評価基準の設定
- 6 組織戦略：「組織力・現場力の向上」→施工管理25名の効率的な配置、チーム力の
強化・現場力を強化するための具体的な行動基準を明確化

5. 中期経営計画2023 (フェーズⅢ) 経営指標



2025年度末 主な経営指標目標

- 財務目標
 - ・ 完成工事高 : 25億円 (直近2年平均 : 21.6億円)
 - ・ 粗利益率 : 20%以上
 - ・ 営業利益 : 1.0億円以上 (直近2年平均 0.8億円)
 - ・ 自己資本比率 : 50%以上 (2023. 9. 30現在 : 44. 9%)
 - ・ 有利子負債 : 2億円以下 (2020. 9. 30現在 : 2. 3億円)
- 品質目標 : 主要顧客の満足度 向上
見積り件数に対する受注率 : 60%以上
- 安全目標 : ①労災事故ゼロ、②年間交通事故 5 件以下